

改正後

先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

(記載例については、裏面)
この明細書は、先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあるときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。詳しくは、「先物取引に係る雑所得等の説明書」を参照してください。

(記載例については、裏面)
を参照してください。

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。
事業所得用
雑所得用

(平成 年分)

氏名

Table with columns for category (取引の内容), amount (A, B, C), and total (合計). Rows include settlement date, quantity, method, and various income/expense items like interest, commissions, and fees.

申告書第三表(分離課税用)の「収入金額」欄の①(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの④)収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの⑥)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの⑥)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑫欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
◎ ④から⑨の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
◎ ⑫欄の合計額が赤字のときにその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、④本年の⑫欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成 年分の所得税の 申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

改正前

先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

(記載例については、裏面)
この明細書は、先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあるときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。詳しくは、「先物取引に係る雑所得等の説明書」を参照してください。

(記載例については、裏面)
を参照してください。

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。
事業所得用
雑所得用

(平成 年分)

氏名

Table with columns for category (取引の内容), amount (A, B, C), and total (合計). Rows include settlement date, quantity, method, and various income/expense items like interest, commissions, and fees.

申告書第三表(分離課税用)の「収入金額」欄の①(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの④)収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの⑥)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑥(申告書第四表(損失申告用)は「1.損失額又は所得金額」欄のFの⑥)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑫欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
◎ ④から⑨の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
◎ ⑫欄の合計額が赤字のときにその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、④本年の⑫欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成 年分の所得税の 申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

「先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書」の記載例

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 事業所得用 雑所得用

氏名 ○ ○ ○ ○

(平成〇〇年分)

取 引 内 容	種 類	④	⑤	⑥	合 計 (④から⑥までの計)
取 引 決 済 年 月 日	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
内 数		40	10	30	
決 済 の 方 法		仕切	仕切	仕切	
総 取 入 金 額		2,620,000	△300,000	90,000	2,410,000
計 (①+②)		2,620,000	△300,000	90,000	2,410,000
必 要 経 費		166,000	83,000	240,000	489,000
所 得 金 額		2,445,700	△387,150	△162,000	1,896,550

※ ①、③及び⑫欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
 ◎ ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
 ⑦本年の⑫欄の合計額が赤字のときはその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、⑧本年の⑫欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成〇〇年分の所得税の〇〇申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の①(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②(収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②)に「0」と書いてください。

- ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
- 「種類」欄には、先物取引の内容に応じて、次のように記載してください。
 - 商品先物取引
 - 差金等決済を行った商品取引所及び商品名について、東穀米国大豆、東京金、大阪ゴム指数、東穀粗糖OP-cのように記載してください。
 - 金融商品先物取引等
 - 差金等決済を行った金融商品取引所及び商品名について、東証TOPIX、東証銀行業、東証中国OP-c、大証日経300 OP-p、大証ダウ、為替証拠金米ドル/円、円3ヵ月金利、円3ヵ月金利OPのように記載してください。
- 「決済年月日」欄には、先物取引の差金等決済をした年月日を記載してください。
- 「数量」欄には、差金等決済をした先物取引の数量を記載してください。
- 「決済の方法」欄には、先物取引の差金等決済の方法について、仕切、転売、権利行使、権利放棄のように記載してください。
- 「差金等決済に係る利益又は損失の額」欄には、先物取引の差金等決済を行ったことにより確定した利益又は損失の額を記載してください。
 なお、損失が生じた場合には、赤書き(△印)してください。
- 「差金等決済に係る委託手数料」欄には、委託手数料の額の合計額を記載してください。

「先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書」の記載例

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 事業所得用 雑所得用

氏名 ○ ○ ○ ○

(平成〇〇年分)

取 引 内 容	種 類	④	⑤	⑥	合 計 (④から⑥までの計)
取 引 決 済 年 月 日	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
内 数		40	10	30	
決 済 の 方 法		仕切	仕切	仕切	
総 取 入 金 額		2,620,000	△300,000	90,000	2,410,000
計 (①+②)		2,620,000	△300,000	90,000	2,410,000
必 要 経 費		166,000	83,000	240,000	489,000
所 得 金 額		2,445,700	△387,150	△162,000	1,896,550

※ ①、③及び⑫欄は金額が赤字(損失)のときは、赤書き(△印)してください。
 ◎ ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
 ⑦本年の⑫欄の合計額が赤字のときはその赤字を翌年以後に繰り越す場合や、⑧本年の⑫欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、「平成〇〇年分の所得税の〇〇申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)」も併せて作成してください。

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の①(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②(収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「1 損失額又は所得金額」欄のFの②)に「0」と書いてください。

- ④から⑥の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
- 「種類」欄には、先物取引の内容に応じて、次のように記載してください。
 - 商品先物取引
 - 差金等決済を行った商品取引所及び商品名について、東穀米国大豆、東京金、大阪ゴム指数、東穀粗糖OP-cのように記載してください。
 - 金融商品先物取引等
 - 差金等決済を行った金融商品取引所及び商品名について、東証TOPIX、東証銀行業、東証中国OP-c、大証日経300 OP-p、大証ダウ、為替証拠金米ドル/円、円3ヵ月金利、円3ヵ月金利OPのように記載してください。
- 「決済年月日」欄には、先物取引の差金等決済をした年月日を記載してください。
- 「数量」欄には、差金等決済をした先物取引の数量を記載してください。
- 「決済の方法」欄には、先物取引の差金等決済の方法について、仕切、転売、権利行使、権利放棄のように記載してください。
- 「差金等決済に係る利益又は損失の額」欄には、先物取引の差金等決済を行ったことにより確定した利益又は損失の額を記載してください。
 なお、損失が生じた場合には、赤書き(△印)してください。
- 「差金等決済に係る委託手数料」欄には、委託手数料の額の合計額を記載してください。